

まんすりー 全旅連情報

2010.7
Vol.186

発行日●平成22年7月1日(毎月1回発行) 定価150円



第88回全旅連全国大会 inぎふ 式典

今月の主な内容

- ・第88回全旅連全国大会inぎふ開催
- ・平成22年度通常総会開催
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会へ名称変更!

MAIN NEWS 第88回全旅連全国大会inぎふ開催	1~2
平成22年度通常総会開催	3
第13回 人に優しい地域の宿づくり賞 視察報告	4~5
対談 政府与党観光振興議員連盟 × 全旅連	6~7
中小企業施策	8
シルバースター新規登録施設紹介／第1回経営研究委員会開催	9
休暇分散化法案に関するアンケート結果	10
全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	11
都道府県組合等の情報	12
シルバースター家族の長寿祝い宿泊プランのご紹介	13
全旅連協定商社会名簿	16

原稿・情報をお寄せください。

ユニークな経営、地域の活動などを行っている組合や組合員の情報をお寄せください。

自薦・他薦を問いません。

その他、ご意見や提言などもお待ちしております。

投稿方法

●E-mail ●郵送 ●FAXにて(連絡先を明記してください。)

送り先

●E-mail: ajra@alpha.ocn.ne.jp

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全旅連事務局

Tel.03-3263-4428 FAX.03-3263-9789

まんすりー全旅連情報

発行日:平成22年7月1日(毎月1回発行)
定価:150円
発行人:島村博幸
印刷:山陽印刷株式会社

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F
TEL 03-3263-4428/FAX 03-3263-9789
「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

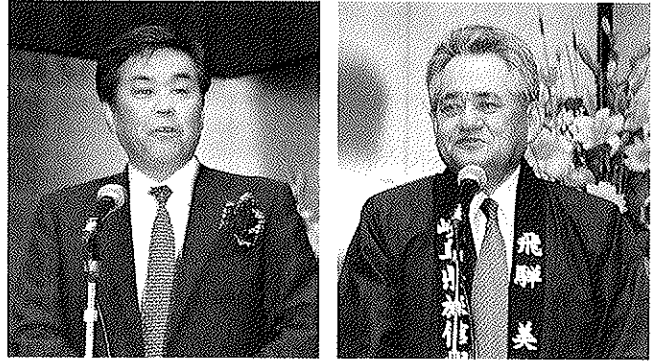
第88回全旅連全国大会inぎふ開催

全旅連は6月8日、岐阜県岐阜市の岐阜グランドホテルで第88回全国大会を開催した。全国から組合員をはじめとした関係者約1200人が参加。佐藤会長は、昨年12月に政府が人口減少下での新しい成長を目指すために打ち出した新経済成長戦略に触れ、その中で、100兆円超の需要を創造するとした「環境」「健康」「観光」の3つの分野については、全旅連も傾注事業として取り組んでいく考えを示し、理解と協力を求めた。

全国大会が岐阜県で開催するのは初めて。冒頭、大会実行委員長で、岐阜県組合の瀧多賀男理事長が「観光業界は厳しいと言われるが、大会を契機にさらに力を合わせ盛り上げていきたい」とあいさつ。また、佐藤会長は政府が発表した中長期的な成長戦略の中で成長分野とした6つの分野のうち、環境、健康、観光の3つの分野については、全旅連も重要事業として推し進めていきたいと語った。「環境」は観光にとって最も大切な財産であるとした上で、「CO₂削減に積極的に取り組みたい」と述べ、今年2月に日産自動車と電気自動車(EV)の充電インフラ整備に関する覚書を締結した経緯などに触れながら、「今後は全国の旅館ホテルにEV充電用の設備の導入に努めていきたい」とし、協力を求めた。「健康」では、増え続ける高齢者に対して、シルバースター登録制度のさらなる充実をはじめ、「あらゆる面で、長寿社会を謳歌することができる社会の実現を目指したい」とした。また、「観光」では、インバウンドの取り組みを挙げ、「全旅連としても政府の方針に則り、それぞれの施設が外国人観光客の受け入れが可能になるよう努めていきたい」と述べた。

佐藤会長は、最後に「21世紀は人類の大交流が進むという平和産業としての観光の時代となる。先人に学び、この難局を力を合わせて乗り切ろう」と語調を強めて呼びかけた。続いて、来賓を代表して所管の厚生労働省、岐阜県の古田肇知事のほか、岐阜市の成原嘉彦副知事、自民党観光産業振興議員連盟の細田博之会長が祝辞を述べた。

全国大会表彰式では、厚生労働省健康局長表彰、全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状、全旅連会長表彰で、旅館業および組合活動に対し功労、功績のあった人たち106人が表彰された。また、高齢者や障害者を含む全ての人々が安心して快適に楽



全国大会式典で挨拶する佐藤会長(左)と開会の挨拶を述べる瀧大会実行委員長(右)



来賓を代表して祝辞を述べる左から厚生労働大臣代理・富澤課長補佐、岐阜県古田知事、岐阜成原副市長、自民党観光議員連盟細田会長

厚生労働省

岐阜県知事

岐阜市長

自民党観光議員連盟会長

観光庁次長

地元国会議員

大会宣言

全国旅館ホテル業界を代表するわれわれは、いまここに第88回全旅連全国大会を結ぶにあたり、その真摯な声を高らかに訴えるものである。今や観光は日本の経済を支える重要な産業の一つとなり、これに携わる旅館ホテル業の社会的地位も向上しているとはいえ、なお多くの懸案がその発展を阻んでいる。

われわれは、外には、日本の魅力を外圍のお客様にお伝えする民間外交の担い手として、内には、国民生活にゆとりと安らぎをもたらす宿泊産業の担い手としての誇りを持ち、経営の安定と活性化に努め、これを阻害する要因を排除するとともに、人と地球に優しい環境づくりを目指し、寛意努力するものである。

ここにわれわれの組織・全旅連をもちたて、同業同士団結の絆を強め、以て全国業界の総力を結集し、初期の目的達成のため邁進する。

右、宣言する。

決議

われわれは、宣言の趣旨の通り、業界の組織強化と経営の安定をはかるため、これが速やかなる実現を期して、次のごとく決議する。

1. 地域の活性化と旅館の再生促進を期す。
1. 組合員の加入を促進し、組織拡充を期す。
1. 人と環境に優しい安心安全な宿づくりを期す。
1. 過当競争を抑制し、健全経営の安定確立を期す。
1. 旅館業の経営改善と新たな経営モデルの構築を期す。
1. NHK受信規約の改訂による受信料低減を期す。
1. 長期低利融資による公庫融資制度の改善を期す。
1. 防災安全体制の確立と衛生管理対策の徹底を期す。
1. シルバースター登録制度の充実と発展を期す。
1. 次代を担う青年部活動の拡充を期す。
1. 女性経営者の会の更なる発展を期す。
1. 全国旅館政治連盟活動の積極推進を期す。

しめる社会環境づくりに貢献した旅館や地域組合に対して贈られる「第13回人に優しい地域の宿づくり賞」表彰では、厚生労働大臣賞の佐賀県旅館生活衛生同業組合青年部、全旅連会長賞のひだホテルプラザ(岐阜県)、選考委員会賞の松江旅館ホテル組合(島根県)、観光経済新聞社社長賞の(社)四万温泉協会(群馬県)に表彰状と賞金が授与された。

このあと、「経営の安定と活性化に努め、人と地球に優しい環境づくりを目指す」とした大会宣言と、「地域の活性化と旅館の再生促進を期す」「組合員の加入を促進し、組織拡充を期す」など12項目からなる決議を採択。最後に、会場を埋め尽くした大勢の組合員の熱気の溢れる会場で万歳三唱が行われ、大会は終了した。

懇親会には連立与党の国会議員で構成される観光振興議員連盟の川内博史会長が駆けつけ、業界が抱える問題に対しては共に考え、協力しながら解決策を見出していきたくと述べ、会場から大きな拍手を受けた。

全国大会では最後に、1300年以上の歴史を持つ鶴飼の観賞が長良川で行われた。組合員らは数十

隻の遊船に分乗し、伝統装束を身にまとった鶴匠の巧みな手綱さばきで数羽の鶴が、川面を照らすかがり火に集まる鮎を水に潜って追う様子を楽しんだ。

第13回人に優しい地域の宿づくり賞表彰式



「人に優しい地域の宿づくり賞」で表彰される上から厚生労働大臣賞、全旅連会長賞(写真左)、選考委員会賞(写真右)の各受賞者



懇親会／アトラクション／協賛業者展示会



全国からの組合員が懇親を深めた大会場(岐阜グランドホテル)



懇親会後に行われたアトラクション(長良川鶴飼観覧船乗船)



懇親会で握手する佐藤会長と民主党川内親議連会長。左端は厚生労働大臣代理の富澤氏、右端は観光庁長官代理の武藤次長

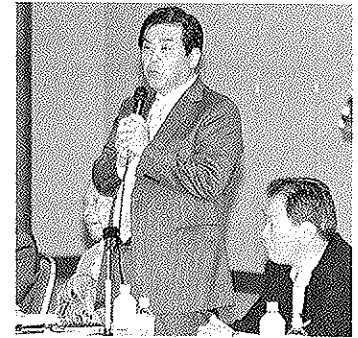
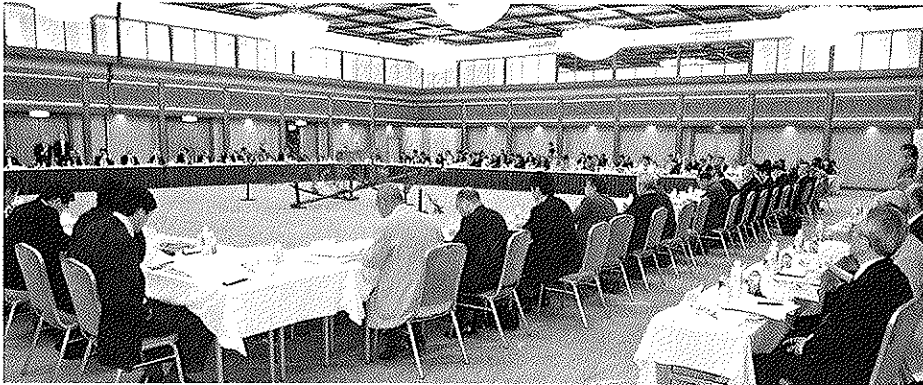


口蹄疫問題で窮状を訴える宮崎県植田理事長組合員と会場内で行なわれた宮崎県組合応援募金



協賛業者展示会とぎふ物産コーナーは大勢の組合員で賑わった

平成22年度通常総会開催 連合会名称に「ホテル」を追加



下呂温泉水明館で行われた通常総会で挨拶する佐藤会長

全旅連は6月7日、岐阜県下呂市の「水明館」で平成22年度理事会と通常総会を開き、理事会では、通常総会提出議案である21年度事業報告並びに収支決算報告を承認、また、通常総会では連合会の名称変更や平成23年度全国大会開催地などを承認した。

理事会での報告事項では、「ホテルチェーン向け組合員加入促進」について報告された。これはNHK受信料の取りまとめによるところの受信料の還元という加入メリットによって加入促進を図るというもので、交渉の進め方については、「原則、各県・支部で行う」とするが、チェーンの方針で本部でなければ交渉に応じないもの（全国的にチェーン展開しているところとホテルチェーン本部が東京都内にあるもの）については、全旅連で対応することを確認した。また、同問題については細則を設け、各県支部が何等かの理由でホテルの入会を望まない場合、また、ホテル側の理由により、都道府県組合だけへの入会を希望した場合などの処置について定めている。

このほか、休暇分散化法案に関するアンケート結果（10ページに関連記事）、口蹄疫関連問題などが報告された。宮崎県に広がった家畜伝染病の口蹄疫問題については、宮崎県組合の植田恒雄理事長が、同問題が観光にまで影響を与え、宿泊キャンセルやイベントの中止など甚大な被害に及んでいると述べ、詳細に現状を説明した。理事会では宮崎県組合に対して見舞金を都道府県組合から募ることを決める支援していくことになった。

質疑応答の中で出されたNHK受信料契約問題については、今後も強力に取り組んでいきたいとし、

政治活動としては、小規模施設の救済のために「15台までを1契約とする」ことを求めて陳情活動を行っていくことなどを明らかにした。また、水質汚濁防止法の暫定排水基準に関する取組みも引き続き進めていきたいとした。

通常総会では、環境問題への取組み、インバウンドへの取組みなどを新たに盛り込んだ平成22年度事業計画案並びに収支予算案を異議なく承認。また、「連合会の名称変更に伴う定款変更」を承認した。これは、連合会の名称を「全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会」とするというもの。全国47都道府県のうち、34組合が「ホテル」の文字を入れ名称を変更済となっていることや、傘下組合員にホテル営業施設が増えていることから変更となった。なお、まだ、変更していない13組合には「全旅連に連動して組合名称も変更の予定」としている組合が多い（アンケート調査から）。他の議案の「平成23年度全国大会開催地」は東京都とすることを承認した。

報告事項では、EV普及のための充電インフラ整備について日産自動車(株)の担当者がプロジェクターを使って説明。また、会場からの質問に答えた。



第13回 人に優しい地域の宿づくり賞 視察報告

厚生労働大臣賞 ▶▶▶ 佐賀県旅館生活衛生同業組合青年部

本事業は、生産量、売上高日本一を誇る海苔生産県である佐賀県内の宿泊施設において、地元の人たちも口にできないような「一番摘み」の、本当に美味しい「佐賀海苔」(焼き海苔)を朝食で提供し、佐賀県のPRにつなげるとともに、近い将来、商品化を図り、売店での売上アップにつなげていきたいというのが狙いだ。同事業については、山口勝也・佐賀県青年部長が事業の仕掛け等について次のように語ってくれた。

◇佐賀県が海苔の生産量や売上が日本一であることは、県民でも知らない人が多い。有明海的环境悪化で海苔がとれなくなったことに危機感を覚え、環境ボランティアを立ち上げ、その対策に努めてきた。一方で宿泊業界に目を向けたとき、多くの宿が朝食に県外産の味付け海苔、それも5枚入りを出しているのが現状だった。その結果、封も切ってもらえないことも多かった。そこで、3枚でも十分満足でき、もっと胸を張って出させる佐賀県の手付け海苔を提供したいと思ったのがきっかけとなった。

◇海苔は柔らかい一番摘みという高品質のものを使用して、本当においしい焼き海苔を出している。青年部員によるアンケートでは、一番安い宿で「十二切れ」といわれる小さな味付け海苔で原価は9円、一番高い宿で30円だった。一番摘みの焼き海苔は3枚で30円となり、大幅なコストアップになった。しかし、全県の宿で出すことでロットを増やす努力をすることにより25円に落としてもらうことができた。さ

らに、業者からは青年部に対する協力金(2円)を得ることができた。コストアップは否めないところとなっているが、「何もない」と言われることの多い佐賀県のPRとともに顧客満足度の向上を図ることが重要と考えての今回の運びとなった。

◇同事業では、青年部の運営原資を確保することができたことも大きな収穫だった。なお、今年7月には、朝食に出した同じ焼き海苔の5枚入りの販売も計画しており、その売店収入でコストアップ分はゆくゆく相殺できるものと考えている。

◇朝食の焼き海苔で終わることなく、今年度は12月1日に「佐賀県ヌーヴォー」という、最高級の秋芽海苔の一番摘みを生で提供するという企画を立てている。これには、県の協力を取り付けている。また、次の事業としては、佐賀の銘酒を若手作家の陶器で飲めるという「利き酒セット」を各旅館で出していく取り組みも始めている。

取材で感じたことは、旅館業だけではなく、環境ボランティアを立ち上げ問題意識を醸成したり、県知事をはじめとする県のネットワークをつくっていたこと、親会や青年部の強い信頼を得ていたという背景が大きく事業の成功に導いたということだ。「いかに社会に対する問題意識をもち、旅館業でいかにそれを解決していくか」という方法論が今回の事業の原点となったと言える。

視察者:井門隆夫 選考委員(日本ベストサポート(株) 地域マーケティング室長)



佐賀県青年部長の山口勝也氏



山口氏の旅館「大和屋」(佐賀県 古湯温泉)

全国旅館生活衛生同業組合連合会会長賞 ▶▶▶ ひだホテルプラザ

「ひだホテルプラザ」は、1972年に飛騨高山地区初のリゾートホテルとして開業し、その後増改築を繰り返して、現在は、総客数225室、777人収容の、同地区のランドマークホテルとなっている。高山市バリアフリーのまちづくりに取り組んできたことを受け、館内のバリアフリー化に積極的に取り組んできたホテルだ。

今回の受賞は、3棟から成る同ホテルのメイン棟（東館）を改装する際に、ユニバーサルなホテルとして最大限配慮した点が評価されたものである。

客室に関しては、95室すべてにウォッシュレットトイレが設置され、車椅子対応のユニバーサルルームもあり、うち2室のトイレは、高山地区の宿泊施設で初めてのオストメイト対応である。和室にベッドを設置した部屋は高齢者にも使いやすいと好評だ。

館内は、正面玄関・ロビー内がスロープ化され、エレベータの点字表示、車椅子用の壁面パネル、身障者対応トイレ等が設置されている。地下大浴場にもスロープが設けられているが、浴場には撥水畳を敷きつめて滑りにくくしており、一般客も安心して利用できる。

このほか、館内各所に配置した聴覚障害者のための筆談機、振動機つき目覚まし時計やお知らせランプ等の貸し出し、また、食卓に関しては、咀嚼が不自由な人のための「きざみ食料理」の提供、アレルギーや宗教上の食材制限への対応などきめ細かく対応している。また、海外からの宿泊客に対して、浴場での中国語表記や入浴方法を説明する絵入

りの案内文を社員の手作りで作成するなど、言葉の障壁をなくすことに努めている。

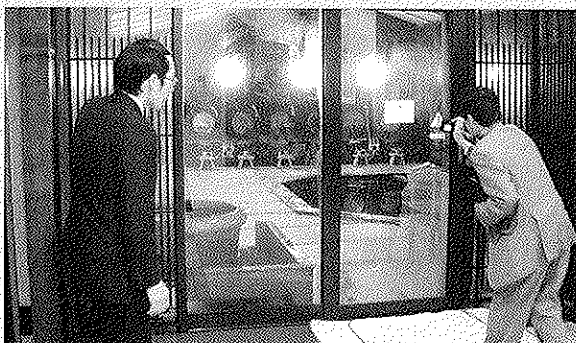
同ホテルは開館当初より一貫して、宿泊客の目線からハード・ソフト両面でのさまざまな改善に取り組んできたもので、今回の東館改装を契機とした幾多の配慮についても、それ以前から順次進めていた「人に優しいユニバーサルホテル」に向けた取り組みの延長線上にあるものと認識する必要がある。

実際、同ホテルは東館改装前となるこの1年間、延べ300人近い車椅子利用の宿泊客を迎えている。大浴場での入浴を希望した車椅子の女性客に対して、フロントの女性が一緒に入浴して手伝ったことが感謝され、翌年もリピート客となったこともあるという。各部門での情報や課題は、役職者が参加する定期的なスタッフミーティングで共有・検討され、議事録を通してすべての社員に伝達されている。

なお、バリアフリーの取組みについては、ホームページ上で室内のドア幅や段差まで具体的に紹介され、個人旅行者も安心して予約ができるようになっており、利用者の目線に立った案内も怠らない。

同ホテルは、常に堀泰則社長のリーダーシップのもと、「不況時こそチャンス」ととらえ、近年では「旅行業第三種」を取得して自ら旅行提案したり、天然温泉の掘削、世界的な環境基準ISO14001の取得など、時代の要請に応える新たな取り組みに挑戦している。

視察者：橋本俊哉選考委員長（立教大学観光学部教授）



井ノ下雄志専務より「畳敷きの大浴場」の説明を受ける橋本選考委員長



館内各所に配置された筆談機

対談 政府与党観光振興議員連盟 × 全旅連

政府与党の観光振興議員連盟が設立されたことを受け、6月15日、全旅連役員室において、川内観議連会長、前田観議連顧問に業界の抱える問題についてお話を伺った。



出席者 右から
川内博史観議連会長、前田武志観議連顧問、
佐藤会長、山本観光政策税制委員長

佐藤 今日はお忙しいところお越しいただきましてありがとうございます。また、川内先生におかれましては6月8日の岐阜県での全旅連全国大会にもお運びいただき、本当にありがとうございました。

我々は観光を日本の中心産業にしたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

そこで、まず3月30日に政府与党の民主党で衆議院議員85名、参議院議員20名で観光振興議員連盟を作っていただきましたが、その議員連盟のお話を頂いてよろしいでしょうか。

川内 昨年9月に手前どもが政権をお預かりをするということになり、鳩山由紀夫先生が首班指名をお受けになられる直前だったと思いますが、佐藤会長と鳩山由紀夫先生が御面談をされている席から直接お電話を頂きまして、鳩山先生から観光を成長戦略の柱として位置づけるためにも観光業を中心に担っていただいている、旅館、ホテルの経営者の皆様方の御意見にしっかりと耳を傾けていかなければならないとご指示があり、今年3月30日に議連をスタートさせたというところでございます。鳩山先生から菅先生に総理が変わったわけですが、誰が総理大臣であろうとも観光業はこれからの日本の経済を支えていく大きな柱として位置づけられます。具体的に様々な政策がこれから展開をされていくという風に考えておりました、前田先生を始めとして先生方にご指導いただきながら、全国に足を運び御意見に耳を傾け、政策の実現に努めて参りたいと。そしてそのための議員連盟が観光振興議員連盟であるというところでございます。佐藤会長をはじめ皆様から御指導いただきしたいと思います。

佐藤 ありがとうございます。それでは司会進行を山本委員長の方にバトンタッチしまして進めて行きたいと思っております。

山本 御紹介を頂きました山本です。この度はよろしくお願ひします。われわれ旅館業界におきましてはかねてから問題点がございまして、観光を成長戦略の柱に位置付けていた

だけるとのことで、そのことを踏まえて進めたいと思っております。

早速1点目ですがNHKの受信料問題でございます。我々の業界はそれぞれ個々にNHKと受信料の契約をしておりますが、今後はイギリスのBBC方式でこの受信料の徴収をしていただけないかということです。

BBC方式と申しますのは、15室までが1台、15室以上5室ごとに1台ということで契約を結んでいくということです。地デジになればテレビの台数は完全に捕捉されてしまいますので、1台毎の受信料負担は相当な負担になりますので、このBBC方式の導入についてご意見を賜りたいと思っております。

川内 実はですね、NHKの受信料は『皆さん払いなさい』ということですけども、集金の人によって全然対応が違うんです。極端なことを言えば、取れるところから取るということで全国で対応が全く違うのです。

全国の旅館の実態調査をしたんですが全部ばらばらで集計の仕様がなかったんです。

前田 実は私の息子がNHKのプロデューサーをやってまして、NHKの不祥事がでた時に皆が集金に行かされて、今言っておられたことについても息子から多少のところを聞きしました。また、私は衆議院で最後の通信委員長をお引き受けしたことがありまして、お話は聞いております。集金にはある程度自由度を与えているようですが、一律であれば良いんですけど、みなバラバラなんです。払わないところをそのままにして、取れるところから全部取れというのはいけません。払っている人がばかを見ます。

山本 はい。部屋数だけで全旅連の10%ほどもっている大手チェーン店があるんですけども、予算委員会である議員の先生から『何%払っているんだ?』って質問があったんですが、そしたら受信料の5%しか払ってないんです。そんな大きいところが5%しか払ってない。

佐藤 それはないんじゃないかということなんですよ。大きいところはそれだけで良くて、我々みたいに小さいところは『まともに払え』はないだろう。みんな同じでしたら払いますよ。払わなくちゃいけないものは払わなくちゃいけない。でも、それはないんじゃないかなあと。

前田 地デジ化によりTVの台数がすべて把握できる状況になりますよね。従って、ここは今まで引きずってきた旅館業における制度の在り方をもう一度議論すべき時が来たと思います。個人的なことを申し上げると、観光立国ということになってくると、お客さまに来ていただくその地域地域の



観光振興議員連盟会長
民主党衆議院議員川内博史先生

素晴らしい日本の文化、あるいは自然ですね、こういうものをおもてなしとともに見ていただくためには、その土地土地に根付いた小規模のおもてなしが大切だと思うんです。ですので、そういうところに注視すればBBC方式というのが観光立国の中でどのような位置付けとなるのかが見えてくると思います。



観光振興議員連盟顧問
民主党参議院議員前田武志先生

佐藤 ありがとうございます。私たちもそういう風に思っています。実はNHKの集金業務を都道府県組合で引き受けるんです。集金業務をすることで受信料を大幅に抑えられるんですね。実際37%くらいですから相当得なんです。ところがこれに大手チェーンは入らない。5%しか払っていないからやらない訳ですよ。

前田先生は受信料をより安くするとおっしゃっていたので是非お願いします。

前田 それは当然のことだろうという風に思うんですよ。なぜなら、みんな家でテレビを見る、と。その家にいることの延長線上で旅館に泊まってテレビを見る訳ですから、家で払って、さらに旅館が受信料を払うということは、政策的な措置というものがあってしかるべきだと思います。

山本 続いては2点目ですが、我々は大きな敷地の中で商売をしております。投資産業ですので常に投資をしなければなりません。すると固定資産税がいろんなところでかかってくる訳ですが、この税制について抜本的な見直しをお願いしたいのです。

佐藤 土地と建物は別々なのですが、田舎は土地がものすごい安いのですが、建物の固定資産税はものすごい高いのですよ。なぜかという固定資産税の帳簿価格が会社の帳簿価格とかとは全く違うのです。20年も30年もしたら、建物の償却はどんどん進んでほとんど価値がないのに、固定資産税だけは建築当初と同じ金額が掛かるんです。

前田 原因の一つは固定資産税が市町村の一番の基本的な税ということです。どういう風に税を下げるかっていう設計の問題がありますが、非常に下げにくい形になってます。固定資産税は市町村独自に変えることができますが、どうも余り多くない、奈良県でもごくわずかの市・町が取り組んでいて、それも当初の5年間くらいで軽減税率が終わってしまう。

国策からいっても、観光立国で国内・海外から多くのお客様が来る中で旅館の果たす役割は非常に大きいし、しかも全旅連の皆様方はどちらかというところが多いでしょう。

日本の素晴らしい観光資源があって、その一番の舞台に

なるところなんだから、そこを地元の自治体にも地元経済の発展につながることをよく理解させていくということが大切です。

佐藤 特に地方地方で雇用など経済効果は相当ある訳ですから、そこをうまく斟酌していただいて、何とか一つ軽減をよろしくお願いします。

山本 3つ目でございますけど、郵政のかんぼの宿についてでございます。かんぼの宿を旅館にするのではなく、なんとか介護施設などへの転用をお願いできないでしょうか。

前田 まじめな答えとしては非常に難しい。それは、かんぼの宿を旅館に使ったらダメだよという法律を作ることは難しいという意味です。しかし、全旅連の御主張されていることは、すべてこの観光立国につながっていく課題です。その中で議員連盟ができたっていうのは非常に大きいと思うんですね。というのも、それらの問題は観光を主務にしている観光庁、あるいは国土交通省の範囲に収まらないんですよ。例えば『かんぼの宿』は元々総務省(郵政省)で、介護施設は厚労省、税の話は国税庁、財務省であり現在の縦割り省庁では対応できない問題なんですよ。観光立国っていうのはそのぐらい幅広いものなので、だからこそ、この議員連盟は非常に大きな意味を持っています。ここで統合的に侃々諤々議論をして、これを内閣においては統合政策として受け止めたと思います。

山本 最後のお願いですけども、既存の旅館業者に旅館を高齢者の介護施設や住宅と兼用できるように助成金制度や金融の優遇措置をお願いしたいということです。我々旅館業界はバタバタと倒産している現状があり、その中で、経営者がまた立ち直れるような政策をお考えいただきたいと思います。

前田 東北のある施設で私の友人が病院をやってましてね、そこは温泉付き病院なのですが上手くいくまで何年かかかったようですが、最近は非常に好評で、なるほど新しい地域振興につながってきてるなあと感心した次第です。すでにあちこちで色々なところで取り組みが始まっているんですね。内閣に特区を所管する地域活性化統合事務局があります、そこでモデル事業的なことをいくつもやって検証していくとおもしろいですね。

佐藤 ありがたいですね。ほんとにいい案です。こうしてお話聞くと、特区もあるし、いろいろやり方があるという心強いお話をいただいて、いずれの問題でもお知恵をお借りして取り組んで参りたいと思っています。

本日は前田先生、川内先生、誠にありがとうございました。特に前田先生には選挙を控えたお忙しい時期にお越しいただき心から御礼申し上げます。今後とも一生懸命頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

中小企業施策

生活衛生改善貸付について

無担保・無保証人で貸付が受けられます

（株）日本政策金融公庫の「生活衛生関係営業経営改善資金融資制度（生活衛生改善貸付）」については、平成20年度から運転資金が貸付対象となるとともに、経済対策として行われた貸付限度額の引き上げや貸付期間の延長などの拡充措置が本年度も継続されましたので、改めて制度の概要を紹介することといたします。

1. 制度の目的

生活衛生改善貸付は、都道府県の旅館・ホテル生活衛生同業組合（以下、旅館組合と言います。）及び都道府県生活衛生営業指導センター（以下、都道府県センターと言います。）が実施している小規模事業者の経営指導事業を金融面から補完することを目的としたものです。

2. 制度の特徴

本制度の特徴は、貸付対象者は小規模事業者に限定されますが、無担保・無保証人で貸付が受けられることです。また、本制度を利用する場合は、旅館組合又は都道府県センターの理事長の推薦が必要なことです。

3. 制度の内容

(1) 貸付対象者

貸付対象者は、旅館・ホテル等生衛業を営む会社及び個人事業主であって、常時使用する従業員（※注）の数が5人以下の小規模事業者です。

※注：常時使用する従業員とは、3ヶ月以上の期間を定めて継続して雇用されている従業員を言い、会社の場合の役員並びに個人企業の場合の事業主及び事業主と生計を一にする三親等以内の家族従業員は除かれます。また、アルバイト及びパートタイマーは、常時使用する従業員には含まれません。

(2) 資金用途

旅館組合の経営特別相談員又は都道府県センターの経営指導員（以下「経営特別相談員等」と言います。）の経営指導に基づいて行う経営改善にかかる運転資金及び設備資金であって、一般の生活衛生資金貸付と同様に営業に必要なものは全て対象となります。

(3) 貸付限度額

貸付限度額は、1,500万円（※注）で、この範囲内であれば重複して借入れが可能です。ただし、商工・商工会議所の小規模事業者経営改善貸付（マル経貸付）を利用している場合は、借入限度額は合計で1,500万円までとなります。

※注：本年度は、貸付限度額が1,500万円に拡充されていますが、平成23年度からは、本則の1,000万円に戻る可能性があります。

(4) 貸付期間・据置期間

① 貸付期間

設備資金：10年以内

運転資金：7年以内

② 据置期間

設備資金：2年以内

運転資金：1年以内

(5) 推薦手続き

本制度は、経営特別相談員等が現地を訪問して、信用調査等を行った上で、旅館組合又は都道府県センターの特別融資審査委員会の審査を経て、旅館組合の理事長等の認証を受け、日本政策金融公庫へ推薦されます。その後の、貸付事務手続きは、一般の生活衛生資金貸付と同様です。

シルバースター 新規登録施設紹介

5月26日（水）に全国旅館会館にて第46回シルバースター登録審査委員会（大木正治委員長）が開催され、申請施設11軒が審査し、右記の11軒が登録。これで、全国のシルバースター登録施設は924軒。

都道府県	旅館・ホテル名	地域名	登録番号
新潟県	ホテル糸魚川	糸魚川温泉	1232
新潟県	越後湯澤 HATAGO 井仙	湯沢温泉	1233
神奈川県	ホテル城山	湯河原温泉	1234
神奈川県	強羅 文の郷	強羅温泉	1235
愛媛県	シーサイドとらや	愛南町	1236
長野県	ホテル椿野	新湯田中温泉	1237
新潟県	大湯ホテル	大湯温泉	1238
新潟県	ホテル飛鳥	寺泊岬温泉	1239
熊本県	蘇山郷	阿蘇温泉	1240
熊本県	阿蘇プラザホテル	阿蘇温泉	1241
東京都	ホテルニューショーヘイ	新宿区四谷	1242

第1回経営研究委員会 開催

厨房改革による経営改善の研究

経営研究委員会（松田賢明委員長）は5月31日、全旅連役員室で会議を開き、今年度の具体的な活動内容である厨房の問題点とその対策について討議した。

同委員会は、昨年度より①旅館・ホテル経営において基準となりうる経営数値の明確化②料理に関わる経費の削減および効率化等、厨房改革による経営改善の研究について活動を行い、この内容を取りまとめた「旅館・ホテルにおける生産性・収益力向上のための新たな取り組みに関する調査報告書」を作成し、各県組合へ配布をした。この報告書の中では、旅館経営において改善すべき厨房の問題点を取り上げ「厨房改善の前提条件」として対策の総論が掲載されている。

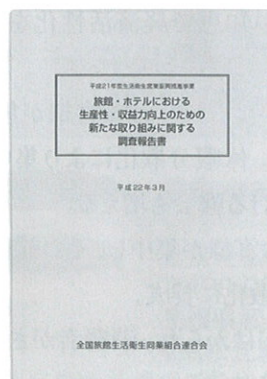
その総論では、旅館の全ての部署で「売上を上げ、適正に支出し、利益を確保する」との意識が徹底されるようにすることが経営者の役目であるとし、厨房も例外ではないとした。また、厨房の管理者となる調理長については仕入価格・食材ロスの管理、調理場に関わる人件費、水道光熱費の管理の把握は不可欠としている。

今年度の活動方針である厨房における問題点の各論への着手において松田委員長は、「目の前に出された料理の原価が30%で疑いのないものかどうか。そこまでを含めトータルの経費を把握して初めて

利益を出すための計算が成り立つのではないか。」と触れ、厨房の削減すべき経費を明確にし、その改善を進めることで利益が見出されるとした。

また、各委員自身がそれぞれの施設で行った料理開発について意見が出され、「料理はお客様をひきつける重要な要素であり、献立づくりは経営者としての醍醐味だ。」と経営者が、厨房との関わり合いを深くし、連携を取ることによってお客様に楽しみや満足を与える旅館づくりにより深く踏み込めるのではないかとされた。

委員会では、今年度の具体的な研究内容として、平日1泊2食で1万2千円～1万5千円で販売を行っている旅館において考えられる新調理システムと加工食材導入の事例研究および厨房に関わる経費への影響の検証を柱とした活動を実施し、とりまとめを行うとしている。



平成21年度作成の報告書

若干の在庫がありますので、ご希望の方は全旅連事務局（TEL.03-3263-4428）までお問い合わせください。

休暇分散化法案に関するアンケート結果

速報

観光庁の休暇分散化ワーキングチームのまとめた「休暇取得の分散化」に関する政府案について、業界としての意見を取りまとめるため、全旅連では、去る5月24日、各都道府県組合を通じて意見募集のアンケートを実施した。

その結果、47組合のうち、43府県組合より回答が寄せられ、組合ごとに政府案に賛成か反対かを集計したところ以下のとおりとなった。

賛成	18組合	41.9%
反対	15組合	34.9%
その他 (どちらとも言えない)	6組合	14.0%
賛否同数	4組合	9.3%

また、直接ご意見を寄せていただいたのは、541件(6月3日現在)で、この内訳は以下のとおりとなった。

賛成	195件	36.0%
反対	231件	42.7%
その他 (どちらとも言えない)	115件	21.3%

賛成と回答をした方の中にも、地域ブロックの振り分け方には疑問を呈する声も多く、今後これらを検討したうえで、全旅連としての意見を集約して観光庁に報告する。

主な意見

【賛成意見】

- 財政出動を伴わない知恵で経済活性化をさせることには大いに賛成。
- 現在GW(ゴールデンウィーク)はお客様が集中し、お断りしている状態。休暇分散化により集中が緩和され、お客様を受け取る機会も増える。
- GWの一定期間にお客様が集中し、その前後は閑散が激しいので、分散化に賛成。
- 利用料金の平準化がはかられ、消費者がさらに利用しやすくなる。

- 宿泊客数の平均化がはかられ、従業員雇用が安定する。
- 基本的には賛成だが、地域ブロック割りは検討の要あり。同地域、同休日だけだと商業圏が集中しているため、それほど有り難味がないのでは…。

【反対意見】

- 休日や祝日には歴史的な意味もあり、それを簡単に変えるべきではない。
- 地域で培ってきた伝統行事への参加も不可能になり、地域との連帯が希薄になる。
- 休暇が長期化すると海外旅行へ出掛けてしまう。
- 分散化すると、元来人気のある観光地やテーマパークなどの混雑が緩和され、結果として皆がそこに集中してしまう。二極化が進む。
- 一番季節的に良いGWの時期をずらされては困る。案では東北は梅雨時に当たる可能性がある。
- 皆が一緒を取るから国民の休日。地域外へ帰省したら一緒に休めないようでは問題。
- お客様のほとんどが近県の方。休暇分散化しても宿泊増にはつながらない。
- 中小旅館ホテルの中には、大型連休に大手からあぶれたお客様をあてに商売をしているところが少なくない。かなり多くの旅館が廃業に追い込まれるだろう。

【その他の意見】

- 実際にやってみないとどのような消費行動となるかは予測の範疇を超えない。まずは社会実験をしてはどうか。
- 中小企業でも有給休暇が取りやすい仕組みづくりをすることが先決。



全旅連会議開催

【6月】

3日(木)

- 全旅連シルバースター部会幹部会

7日(月)

- 平成22年度全旅連理事会
- 平成22年度全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合総代会
- 全旅連事業サービス(株)株主総会
- 第88回全旅連全国大会前夜祭
(於・下呂温泉「水明館」)

8日(火)

- 第88回全旅連全国大会inぎふ
(於・岐阜市「岐阜ランドホテル」)

17日(木)

- 全旅連総務・財務委員会

22日(火)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会、勉強会
(於・名古屋市「つちやホテル」)

29日(火)

- 全旅連シルバースター部会常任委員会
- 平成22年度全旅連シルバースター部会総代会
(於・千代田区「都道府県会館」401会議室)

「料理人」を対象とした新たな
顕彰制度創設!

農林水産省「料理マスターズ」

【顕彰内容】

その技術・技能が卓越していると評価される現役の料理人のうち、概ね5年以上にわたり、以下のいずれかの取り組みを行い、他の模範とするに相応しい功績のあった者。

- ①国内における産地の形成や生産者の所得向上に貢献。
- ②新たな食品等の普及や地域の活性化、食文化の発展に貢献。
- ③海外における日本食文化の普及と日本産の食材等の利用拡大に貢献。

【募集期間】

平成22年6月15日～8月15日

詳しくは農林水産省「料理マスターズ」顕彰制度のHPをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/gaisyoku/kensyou/>

「まんすりー」経営改善講座

経営コンサルタント 渡邊 清一郎

「想像力だよね!」

500年前のイタリアはフィレンツェの思想家。「君主論」の著者としても有名なマキアヴェッリは「いかなる分野でも共通して必要とされる重要な能力が、ひとつある。それは想像力である。」という言葉を残しています。

普通、人は壁に突き当たる。壁に突き当たったとき疑問を抱く。疑問を解決しようとして様々な努力をするが解決せず苦悩したあげく、想像力に訴えるほかはないと思に至る。

想像力を養うには、訓練が必要です。肉体を鍛えるのと同じです。何度も壁に突き当たり疑問を抱き、それを解決しようと想像力を巡らさねばなりません。

われわれ俗人とは違い、キャリアを有した勉強の出来る人たちが、往々にして上手く行かないのはなぜか。エリートがゆえに「壁→疑問→想像力発揮」という経験がほとんど無いからではないでしょうか。

社会生活も家庭生活も、ましてや会社経営も「想像力の発揮」なしでは前に進んでゆきません。様々な現実に対して「私ならば如何に考え、如何に行動するか」想像すること。とっても大切なことだと思います。

[経営相談はwatanabe@yadonet.ne.jpまでメールにてどうぞ!]

第20回全旅連青年部全国大会
in 縁結びの地しまね

～誇りば持とう青年部～
「誇り」「絆」「友情」

期 日 平成22年11月25日(木)

会 場 島根県松江市『くにびきメッセ』
〒690-0826
島根県松江市学園南1-2-1
〈JR松江駅より徒歩7分〉

※多数の皆様のご参加をお待ちしています。



都道府県組合等の情報

医療観光

新スタイルの「現代湯治」スタート〈三朝温泉〉

世界有数のラジウム温泉で知られる三朝温泉（鳥取県）では、温泉と医療を連携させた新しいスタイルの「現代湯治」を本格的にスタートさせた。リフレッシュ、ストレス解消などを目的とした自由でカジュアルな現代湯治は新しい“癒しの形”として注目を集めているもの。

温泉旅館でラジウム泉につかり、地元の温泉治療を備えた病院（岡山大学病院三朝医療センター、三朝温泉病院）で生活習慣病などを改善するという保養湯治プランは、三朝温泉旅館協同組合加盟の中で13軒が提供している。2泊3日、3泊4日のプチ湯治から長期湯治までスタイルは様々。宿泊予約時、所定の用紙に診療希望日や診療料など必要事項を記入してファクスなどで旅館に申し込む。

また、三朝温泉では、「ラジウムのソムリエ」としてラチムリエを養成（各旅館の従業員ら約30人を認定）しており、宿泊客らにラジウム温泉を利用したリラックス法などを指導している。

医療観光への誘致始まる〈徳島県〉

糖尿病死亡率全国ワースト1位の徳島県は、国内外の糖尿病患者らを対象にした医療観光としてのモデルツアーを実施してきたが、このほど中国で増えつつある糖尿病患者や予備軍を呼び込もうという、商品化された企画がスタートし、その第1弾が5月22日、県内で始まった。中国・上海市から33人が参加。25日まで3泊4日のツアーを楽しんだ。観光メニューは、運動をかねてなるべく歩くように工夫されている。阿波踊りの体験のほか、各宿泊施設が考案した県産食材を豊富に使いながらカロリーを抑えた献立が提供される。徳島大学病院で内臓脂肪の断層映像や心電図をとるなどの検査を受けるのは5人。他は観光組となる。

一方、県からは、この日、県職員や観光業者ら約60人が上海に出発し、徳島の観光をPRしながら医療観光への誘致活動を行った。医療観光は、県が上海市を拠点に県内企業の販路開拓や観光誘客を図るグローバル戦略の一環としている。ツアーは当初海外客を対象に開き、国内客に拡大する。

I(あい) 援隊運動推進中〈岩手県〉

岩手県では、県および県職員が坂本龍馬の気概をもって、従来の枠組みを超えて独創力と行動力を発揮し、県民、企業、NPOと共に協働して、グローバル化時代に相応しい、開かれた新しい組織集団に進化していくことを目指すという「I(あい) 援隊運動」を推進中だが、^{なつこ}達増知事は5月28日、高知県の尾崎知事と高知市の桂浜で対談し、高知の「K」と岩手の「I」を合わせて「K・I(かい) 援隊」として、両県が連携して観光や産業、文化などの交流やセールス活動などに取り組むことを決めた。10月に高知市で、来年2月には盛岡市で互いに物産展を開く。

組合規約に暴力団等の加入拒否を明記〈箱根温泉〉

箱根温泉旅館協同組合はこのほど、組合員ならびに役員、顧問及び職員に関する組合規約を定めた。適用は平成22年5月26日から。条項の中の「加入の拒否」では、「暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体又はその関係者、その他反社会勢力（以下「暴力団等反社会勢力」という。）であるものが経営していること、又は実質経営支配していることが明らかなものについては、加入を拒むことができる。」、また、「除名」では「暴力団等反社会勢力が経営していること、又は実質的経営支配していることが明らかなものについては、除名することができる。」とした。

新宮崎市観光振興計画策定〈宮崎県〉

宮崎市は、平成22年度から平成26年度までの観光振興施策の基本方針となる「新宮崎市観光振興計画」を策定した。計画では、「個性的な観光リゾートづくりの推進」「観光ホスピタリティ（もてなしの心）の充実」「効果的な観光情報の発信」「スポーツランドみやぎの推進」「青島地域の活性化」「効果的な観光情報の発信」の計五つを観光振興戦略と位置づけた。

市内を代表する観光地・青島地域を巡っては、民間会社がコテージ施設を来年春に開業させることを踏まえ、周辺に地元農産物、海産物の物販・飲食機能の充実など一体的な再開発事業を進める。

シルバースター家族の長寿祝い 宿泊プランのご紹介

平成21年度のシルバースターキャンペーン第2弾(平成21年12月1日~22年2月28日)「家族の長寿祝い『こんな宿泊プランがあったらいいな』」コンテスト(282件応募)で、特に素晴らしい宿泊プラン12件をご紹介します(毎号4件ずつ掲載)。

評価の高かった宿泊プラン(41件)は「宿ネット」で公開中。

YadoNet

<http://www.yadonet.net.jp/>



人生を長くやってみると時間がいっぱいあると気づいてくれたらいいなと思います。

9 「家族で長寿祝い」

1. 家族に知らされないサプライズプラン(家族も知らない方が共に喜べると思っています)
2. お部屋にはお祝いの飾り付けと中心に花(又は花束)
3. 食事はバイキング式で(かざらない方がリラックスできる)テーブルの上には名前入りの大き目のメッセージカード。食事の時にホテルの方からのお祝いの言葉とワインなどでカンパイ!その日の食事の中の他の利用者と一緒に祝いできたら思い出となると思っています。
4. サプライズプレゼント(例えば、ホテル内での買い物券など)母は、買い物が一番の楽しみです。
こんな心のこもったプランがあったら、少々料金が高くても利用したいです。(56歳/女性)

11 「家族の笑いっぱい」

家族で祝ってあげたいので、みんなで囲んで食べられるお鍋があって、後は本人の好物の料理を食べられると嬉しいです。みんなで、大きなケーキで還暦祝いできるといいなあ~と思います。記念に、旅館の庭か花壇などで、植樹できるってのもいいかな?と思います。何年後にかその木が花を咲かせるなら、みんなで見に来れたら幸せですからね。(55歳/女性)

10 「七福神がやって来た」

プレゼントという物は、なかなか恥ずかしくて渡せないものです。まして親に渡すというのは何か照れくさいものがあります。そこで、誰か別の人物にプレゼントを渡す行為を依頼して、それを1つのイベントにしてはいかがでしょう。もちろん頼めれば誰でも良いわけではありません。縁起がよくて賑やかで・・・、そうです!「七福神」などいかがでしょう。子供ならサンタクロースも結構ですが、こちらは大人。サンタクロースというわけにもいきません。七福神なら長寿の祝にピッタリです。食事の中の旅館の部屋に突然、七福神が現れて、おじい様、おばあ様の長寿を歌や舞いでお祝いします。そして最後に、お子様からのプレゼントを七福神が渡して行きます。こんな楽しい演出でサプライズなプレゼントを渡されたら、きっと忘れられない長寿のお祝いになると思います。(34歳/男性)

12 「メモリアル 福集い旅行」

- プラン其の一 Wellcomeのお茶菓子を、紅白饅頭とか、その土地のお祝い菓子に!
- プラン其の二 夕食時、鯛の塩釜メニューなど(木槌で叩くなど、パフォーマンス要素のあるメニューを入れ、パースデーケーキ的なお祝い膳アレンジ。思い出に残る御膳の空間を演出)
- プラン其の三 その地方のお祝いの詩吟とか、謡いのようなものがあれば、旅館の仲居さん、番頭さん、地元の人の出張アルバイトでもいいので、一曲披露。特別プランの形でも。(旅を印象付け、満足度に繋がる。)
- プラン其の四 家族揃っての記念写真撮影サービス(赤袴纏などの貸出し)
- プラン其の五 大浴場を家族で貸切り(足が不自由だったりすると、危なくて中々大浴場に行けずに小さい家族貸切風呂で我慢している人も多いよう。一組限定でも事前予約で、他の宿泊客に支障が出ない程度で受付。お風呂はその宿の顔!堪能させたい。)
- プラン其の六 お箸サービス(宿泊日やメッセージを事前に入れ、プレゼント。お土産に。)(42歳/女性)



格安・限定プランいっぱい！
お得でうれしい宿泊プラン情報サイト

～サイトリニューアル&新サイトオープン～

※新規掲載施設様募集しております※
先着100社様限定で無料掲載致します

1 「旅くる」サイト概要

- ①大手チケット販売会社とスキルアップジャパンの提携旅行情報サイト
- ②チケット購入したユーザーだけがみれる限定サイト（月間約50万人が購入）
- ③旅くる編集部が厳選した全国各地のおすすめホテル・旅館様情報の掲載や無料宿泊券が当たるプレゼント企画等、今までにない旅行情報発信サイト

2 ・掲載メリット

★<メリット1>新たな市場開拓

全国のチケット購入者（月間約50万人）に対して御社の施設情報を掲載しPR、既存の旅行代理店・ネットエージェントが囲い込めていない購買意欲が高い顧客層の集客に繋がります。

★<メリット2>稼働率アップ

①当サイトは御社又は旅行サイトの予約ページに誘導しますのでお部屋在庫管理の必要無。ブロックも当然無

★<メリット3>利益率の高い売上の確立

送客手数料のような成果報酬は一切頂いていないため利益率の高い売上に繋がります。

3 ・掲載イメージ

チケット購入者



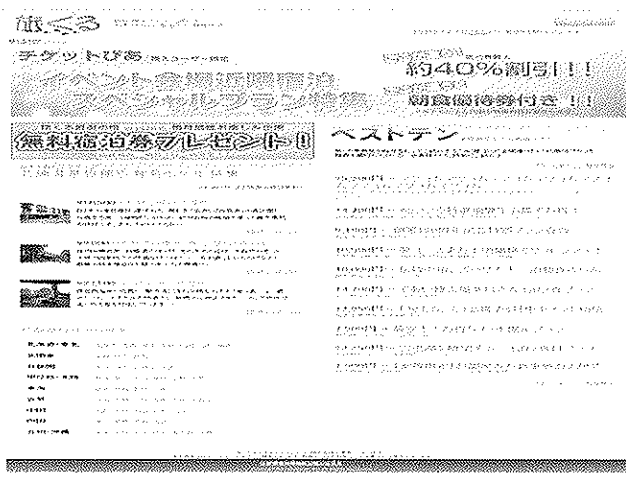
月間約50万人



他提携企業
サイト
約50万人

誘導

<掲載イメージ（トップページ）>



※その他、近日リリース予定の企画2点※

- ①当サイトに訪れことのあるユーザーに定期的なメルマガ配信し平日・閑散期の『稼働率UP企画』
- ②当社提携の異業種のメルマガ会員向けにメルマガ配信し『集中集客企画』

4 ・掲載費用

■ 月額：5,250円(税込) ■ 年間契約：37,800円(40%OFF!)

■ メルマガ配信：3万円/1回

■ トップページ掲載①ベストテン②おすすめピックアップ③プレゼント）：要問い合わせ

サイトリニューアル記念につき
件数限定、期間限定で
無料掲載を行います！！
掲載希望の方は至急お問い合わせ
してください！！

ご利用時の注意事項

- ①当サイトへ掲載される場合は、御社サイト又は旅行サイトからの直接予約かお電話での予約となります。
- ②弊社にて取得した個人情報はご提供できません。
- ④その他ご不明な点は、営業担当者もしくは下記までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ：スキルアップジャパン(株)
TEL：03-5287-4388

ソーシャルソリューション営業部（全旅連協定商社）
FAX：03-3204-4167（担当/神岡・溝口）

全旅連組合員の皆様へ

乾度良好Ag⁺バスマット

お客様が集まる。 と、菌も集まる。

さまざまな方が利用する
お風呂やシャワールーム
には、すぐれた抗菌機能を
有する《乾度良好Ag⁺
バスマット》が最適です。

サッと吸水・カラッと快足

乾度良好 Ag⁺

乾度良好 エージープラス バスマット



全旅連組合員様向け
特別割引 15%off
キャンペーン実施中!

茨城県東郷町 天原にて。写真の商品は約60×90cm、ベージュです。

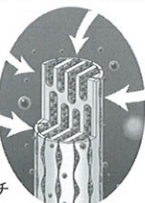
◎「Ag⁺(銀イオン)」を繊維に練り込んだ特殊なアクリル繊維バスマット。「直接抗菌」+「光触媒抗菌」のW機能で、マットに付着した菌をしっかり抗菌!

◎すぐれた吸水・速乾性で、大勢のお客様が使っても、最後の一人まで、マットも足もとも、カラッと快足! そのワケは、1本1本に多数の細かな穴を設けた特殊構造繊維が、濡れた足もともから水分を直ちに吸収&拡散するから。

◎パイル長18mmのリッチなテクスチャー。

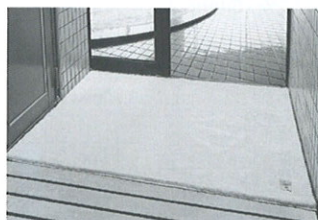
◎すべり止め加工で、安全性にも配慮。

◎繰り返し洗濯しても、抗菌機能は持続。

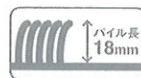
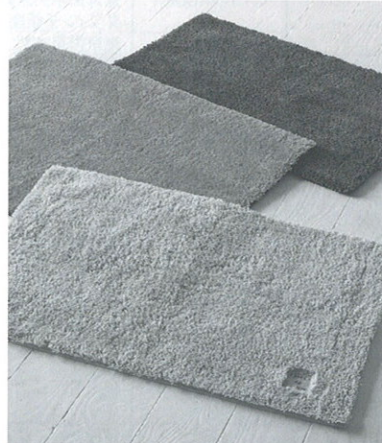


◎清潔さを、お客様にもしっかりアピール。見やすい刺しゅうを施しました。

◎別注オーダーシステムで、どんなスペースにもフィット。



写真の商品は約150×90cm (別注サイズ)です。



銀世界® 光触媒除菌繊維「銀世界」使用

■サイズ/価格

定番	通常価格	特別価格
約50×80cm	¥2,835	⇒ ¥2,410
約60×90cm	¥3,885	⇒ ¥3,302
約70×100cm	¥5,040	⇒ ¥4,284
約90×120cm	¥7,770	⇒ ¥6,605
別注1m ² につき	¥7,665/m ²	⇒ ¥6,515/m ²

■カラー: ■ブラウン ■ベージュ
■オレンジ

■素材: アクリル100%
■原産国: 中国
■裏面: すべり止め加工
■パイル長: 18mm

※価格はいずれも税込みです。※写真は実物の色と若干異なる場合がございます。

ご存じですか?
Ag⁺
のこと。

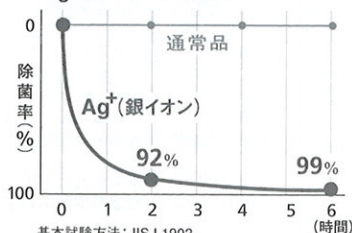


徳島大学大学院
ソノテック/サイエンス研究部
工学部物質生命工学系
生物工学科
教授 工学博士
高麗寛紀

オカのAg⁺繊維製品に使われている光触媒除菌繊維「銀世界®」について、開発に携わられた高麗寛紀教授にお話を伺いました。

「銀世界®」の大きな特長は、「アクリル繊維」に「Ag⁺(銀イオン)」を保持させたことにより、「直接抗菌」と「光触媒抗菌」、2つの機能を発揮する点です。今のところアクリル以外では、こうした繊維は見当たらず、現時点において「銀世界®」はベストのものと言ってよいと思います。さらに「銀世界®」は、Ag⁺(銀イオン)を強固に化学結合させることで、飛躍的に抗菌機能とその持続性を高めています。昨今見受けられる、Ag⁺を単に表面に付着させただけのものとは、根本的に異なります。

■白黴菌に対するAg⁺(銀イオン)の効果



基本試験方法: JIS L1902、培養液に1/20サブロウ液体培地 使用菌: 白黴菌孢子 監修: 徳島大学 高麗寛紀教授

■水虫の感染経路
<水虫(白黴菌)の多い場所>

1位	バスマット	329個
2位	スリッパ	88個
3位	浴室内の床	54個
4位	リビングの床	48個
5位	畳	45個
6位	敷きふとん	5個

※1平方センチメートルあたりの菌の数



あなたと、信頼関係。オカ株式会社
〒640-0454 和歌山県海南市別院597 東京・名古屋・福岡
<http://www.oka-kk.co.jp>

☎ 0120-840655
FAX 073-486-0304